

国際港湾協会日本会議 令和 8 年（2026 年）度事業計画

令和 8 年（2026 年）4 月 1 日から令和 9 年（2027 年）3 月 31 日までの事業は、次のとおり計画する。

1. 令和 8 年（2026 年）世界港湾会議への参加等

英国ロンドンにおいて、令和 8 年 11 月 3 日～6 日に開催される世界港湾会議に日本会議事務局が参加するとともに、会議に出席する日本会議会員を支援する。

2. 第 28 回（令和 8 年度）国際港湾協会日本会議理事会の開催 第 28 回理事会を、次のとおり開催する。

1) 開催日 令和 8 年（2026 年）7 月 27 日（月）

2) 開催場所 ベイサイドホテル アジュール竹芝 16 階「藤」

3) 議案内容

議案－1 令和 7 年度 事業報告

議案－2 令和 7 年度 収支決算及び監査報告

議案－3 令和 8 年度 事業計画

議案－4 令和 8 年度 収支予算

議案－5 国際港湾協会日本会議役員の選任等、その他

3. 第 25 回（令和 8 年度）国際港湾協会日本会議総会の開催 第 25 回総会を、次のとおり開催する。

1) 開催日 令和 8 年（2026 年）7 月 27 日（月）

2) 開催場所 ベイサイドホテル アジュール竹芝 14 階「天平」

3) 議案内容

議案－1 令和 7 年度 事業報告

議案－2 令和 7 年度 収支決算及び監査報告

議案－3 令和 8 年度 事業計画

議案－4 令和 8 年度 収支予算

議案－5 国際港湾協会日本会議役員の選任等、その他

4. フォーラム・セミナーの開催及び支援

1) IAPH-KMI（韓国海洋水産開発院）港湾フォーラムの開催協力支援

ア 日時 令和 8 年（2026 年）7 月 27 日（月）10：30～17：30

イ 場所 ベイサイドホテル アジュール竹芝 14 階「天平」

ウ プログラム概要（予定）

- 開会挨拶 国土交通省港湾局産業港湾課長 早川 哲也 様
韓国海洋水産開発院シニア研究フェロー Dr. Geunsub KIM
国際港湾協会 元野 一生 副会長

○基調講演

- 1 「IAPH が世界の港湾コミュニティに果たしてきた役割」
IAPH Managing Director Patrick Verhoeven
- 2 「不確実な時代における海事・港湾産業のグローバル展開」
東京大学大学院工学系研究科准教授 柴崎 隆一 様

○プレゼンテーションと質疑応答

<脱炭素化>

- 司会：神戸大学大学院海事科学研究所教授 平田 燕奈 様
- 1 「カーボンニュートラル港認定制度について」
国土交通省港湾局産業連携企画調整官 菊地 弘之 様
- 2 「海を渡る新しい電力網について」
株式会社海上パワーグリッド代表取締役社長 大西 英之 様
- 3 「蔚山港の環境配慮型海上燃料への取り組みについて」
蔚山港湾公社持続可能エネルギー環境部門 MG Mr. Lee Jea-Kwan

<デジタル化>

- 司会：東京大学大学院工学系研究科准教授 柴崎 隆一 様
- 1 「AI によるコンテナターミナルについて」
三井 E&S 成長事業推進事業部マーケティング部 Gr 長 市村 欣也 様
- 2 「釜山港のデジタルスマート港開発戦略について」
釜山港湾公社グローバル業務担当副社長 Mr. Koo Ja-rim
- 3 「コンテナターミナルのスマート港変革戦略について」
韓国海洋水産開発院 主任研究員 Ms. Lee Hyeryeong

<効率化への取り組み>

- 司会：韓国海洋水産開発院シニア研究フェロー Dr. Geunsub KIM
- 1 「CONPAS によるターミナル予約システムについて」
国土交通省港湾局港湾経済課港湾物流戦略室課長補佐 西村 海知 様
- 2 「港湾業界における AI 導入のパイロットプロジェクトと今後の展望」
韓国海洋振興公社 ディレクター Mr. Lee Seok-yong
- 3 「コンテナターミナル内横持トレーラー運行の高度化について」
苫小牧栗林運輸株式会社 企画開発部 小林 秀昭 様

○閉会挨拶 公益財団法人国際港湾協会協力財団 大脇 崇 会長

2) IAPH 日本セミナー（冬）

国際港湾協会協力財団と共催により、IAPH 日本セミナー（冬）を世界港湾会議 2026 の開催後に適切な日時で開催し同会議の概要等を報告する

5. 機関誌「IAPH 日本フォーラム」の発行

機関誌を、次のとおり 3 回発行する。

1) IAPH 日本フォーラム第 67 号 令和 8 年 7 月頃発行

掲載内容（予定）

- ・巻頭言、会員港湾からの報告、国際港湾協会活動の近況、World Ports Tracker の概要報告
- ・「Ports & Harbors」2025 年 9/10 月号及び 2025 年 11/12 月号の掲載文献の紹介（12 編）

2) IAPH 日本フォーラム第 68 号 令和 8 年 11 月頃発行

掲載内容（予定）

- ・巻頭言、会員港湾からの報告、国際港湾協会活動の近況等
- ・国際港湾協会日本会議の理事会、総会の報告
- ・「Ports & Harbors」2026 年 1/2 月号及び 2026 年 3/4 月号の掲載文献の紹介（10 編程度）

3) IAPH 日本フォーラム第 69 号 令和 9 年 3 月頃発行

掲載内容（予定）

- ・巻頭言、会員港湾からの報告、国際港湾協会活動の近況等
- ・世界港湾会議 2026 の概要報告
- ・「Ports & Harbors」2026 年 5/6 月号及び 2026 年 7/8 月号の掲載文献の紹介（10 編程度）

6. IAPH 本部事務局活動への支援強化、その他

本年はロンドンにて国際港湾会議が開催される。この会議を盛り上げるため、IAPH 本部事務局の活動を支援する。また、技術委員会の活動内容をさらに積極的に情報提供し、会員の参加を促進する。

国際港湾協会協力財団と共同でセミナーの共催など、各種活動の連携を強めるとともに、日本会議の役割と活動を各方面に PR し、会員勧誘を行う。